

靈悟姫の  
絆七変化  
豆知識集

緑の階位

## 魂の入れ替えと組み替え

一つの魂がふる里の神様の手を借りずに悟りを開くに、  
どうすればいいかを考えた結果が、  
入れ替えと組み替えなのよ。

陽が陽のまま代わり続けられ、

いつまで経っても陰の存在が分からないから、

「それじゃあ、男と女の魂を入れ替えてみよう」

と男の魂が詞を発したなら、

「それはいい案ね！」

と女の魂が同意し、

「それだけじゃあ、まだ完璧じゃあないから、

あだなえる縄の如し組み替えし代わり続けられ、

もっと悟ることができるじゃないかな？」

と男の魂が言えば、

「その方がわたしたちのように、

子供たちの夫婦の絆が結ばれ、

ふる里の家紋が大喜びするわね！」

と女の魂は飛び跳ねて大賛成したの。

だから陰陽和合と表裏一体や、

清濁併せ呑むという言葉が産まれたの。

きっとそうだと思うわ。



# 家を滅ぼす原理とは？

主人を悪に染めたいなら、

主人を奴隷のように扱えばいい。

主人が友達から嫌われたいなら、

友達たちの悪口を言えばいい。

主人の友達たちを家に入れたくないなら、

掃除をしなければいい。

主人の威厳を下げたいなら、

持ち物を粗末にして自分だけ着飾ればいい。

主人を無能にしたいなら、

妻が自分の学歴をさらけ出せばいい。

主人の尊厳を下げたいなら、

妻が自分の徳を褒め称えればいい。

主人の気品を落としたいなら、

身だしなみに気をつかわなければいい。

主人に暴力を振るわせたいなら、

主人の実家の悪口を言えばいい。

主人をリストウや酒飲みにしたいなら、

妻が自分の姉妹や親とだけ行き来をすればいい。

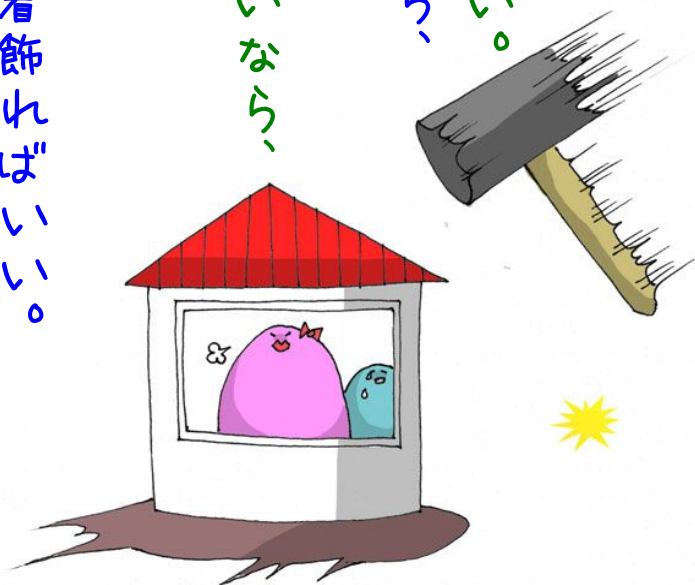
このようにすると、主人の位が下がり、

おのずと奥さんの位も下げる結果になり、

そして子供たちの位も下がり、

息子と娘が父親をバカにし、同じ位の嫁と婿を選び、

夫婦喧嘩が起き、家庭が崩壊され、國が滅びるわ。



# 命ってなに？

あなた自身なのよ！

あなたが笑うこと。喜ぶこと。涙を流すこと。

怒ること。憎むこと。すべてが命なの！

生きていることが命なのよ。

ここにも ここにも あきこにも、

命がいっぱいあるように見えるけど、

命はひとつになりたいからなのよ。

笑うことができるのはどうして！

泣くことができるのはなぜ！

喜ぶことや怒ることができるとはどうしてなの？

ひとつじゃ分からないから、

命がプレゼントをしてくれたからだけ。

だけどそのプレゼントをありがとう

と思っない人が多いわね。

憎む自分が憎まれるわよ。

怨む自分が怨まれるわよ。

嫌う自分が嫌われるわよ。

命があるからいろんな体験ができるわ。

その体験も命からのプレゼントなのよ。

だから命にお礼を言おうよね！

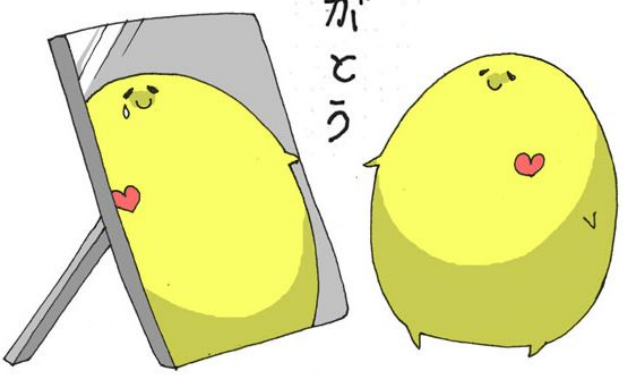
なして言うって！ それわね、

あなたの命に出会えてありがとう

と言うのよ。

それがありがとうと言える自分ありがとうなの。

ありがとう

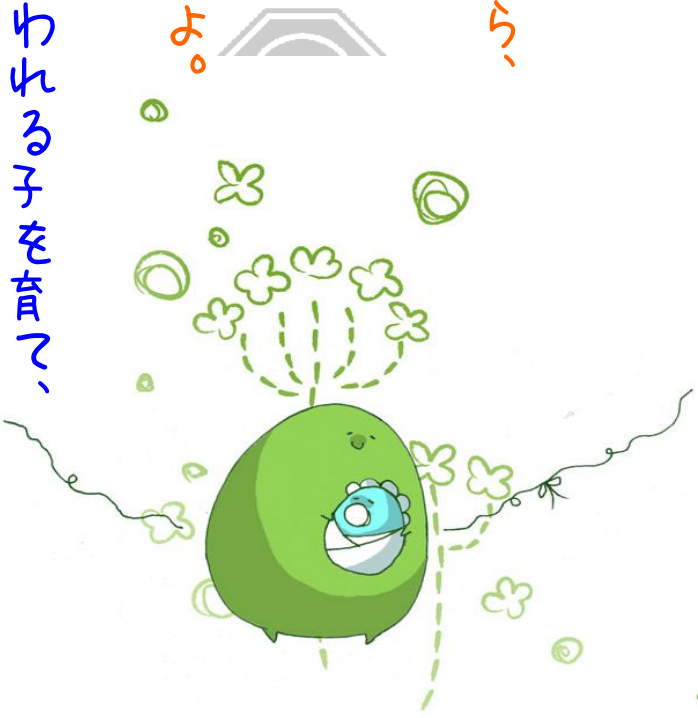


## 誕生の意味とは！

父ちゃんとお母ちゃんや、おじいちゃんとおばあちゃんこの  
姉弟や義姉弟の中で、  
憎んだ人や嫌った人、  
遠ざけた人や避けて通った人に、  
祝福してもらいたいから産まれるのよ。

その人たちが、  
大切な人だから、  
忘れてはいけない人だから、  
思い出したい人だから、  
恩を返したい人だから、  
縁を結びたい人だから、  
感謝すべき人だからなのよ。

姉弟や義兄弟を嫌えば嫌われる子を育て、  
母ちゃんが親や姉妹と仲良いと憎しみの子を育て、  
夫婦が怨み合うと切れる子を育て、  
身内に親切心で出しゃばると避ける子を育て、  
隣近所をさければ遠ざかる子に育て、  
立場と順序を無視し親に孝行すると、  
孤独な子に育ててしまうから、  
あなたの命に出会えてありがとう！  
と思うと命さんが微笑んで、  
再会させてくれて絆が結ばれるのよ。



魂と命ってどう違うの？

「地球を魂にすると、みんなそれぞれが命」と思えばいいのよ。

魂があるから命があるのだから、置き換えて考えてみればいいだけだわ。

たとえばね。

太陽を魂にすると影が命になるの。

樹木を魂にすると果実が命なのよ。

地面は平等だけど、敷地の広さは不平等だわ。

お金は平等だけど、財布の中身はそれぞれ違うの。

魂はたったの一つで平等だけど、

命は二つや四つ、

四つから八つに分かれて、

いろんな体験を不平等に

導いてくれるの。

ここも、そこも、あそこも、

一つになりたいから出会うのよ。

なぜ出会うのって？

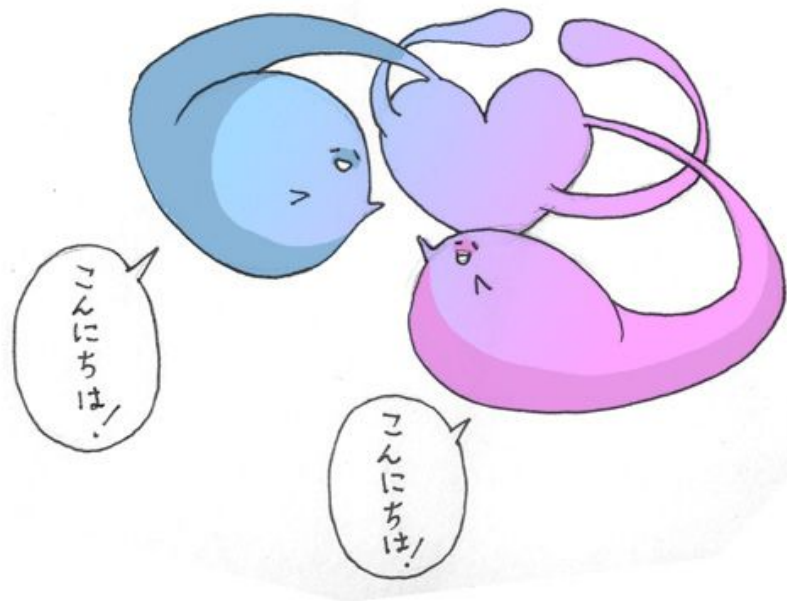
一つの命だけじゃあ、

悟ることができないから、

陰陽和合の体験を通して、

一つになるように魂が導いてくれているのよ。

分かった？ みんな！



運命って何？

運命は宿命の。

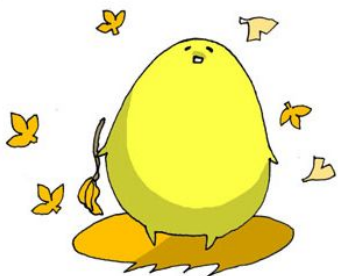
宿命とは何？

生き方だけ。

生き方とは何？

運命なのよ。

分からないって！



だからいままで運命は  
変えることができない宿命だ！  
と言われ続けてきたの。



運命とは心が変わり続けること、  
これが不易や不変なの。

春夏秋冬で

昨日から今日、今日から明日へ、  
変化することなのよ。



昨日を嘆くと今日も嘆き悲しんで、

明日も心が煩い、いつまでも執着していると、

心を変えることができないけど、

昨日は素晴らしい体験をしたから、

今日も素晴らしい体験ができるよ、

思いを変えると明日も素晴らしい体験が待っているわ。

これが運命なのよ。

ありがとうは誰に言うの？

ありがとうは自分に言う言葉なのよ。

それを誰かに言おうと探し求めるから、

好きと嫌いになってしまふの。

嫌いな人には言いたくないけど、

好きな人に言いたい。

人にお礼を言うための言葉だと思っているけど、

「情けは人のためならず」

と同じで、自分に返ってくることを期待して、

言わない人に怒れ、腹を立てて憎んでいるから、

いつまで経っても幸せさんがやっつこないの。

あなたがかけた情けが、

廻り回って一番嫌いな人に返ることなの。

「あの人にだけはイヤだー」

と知っているのと、ありがとうがしゃんが嘆き悲しむわ。

ありがとうは、

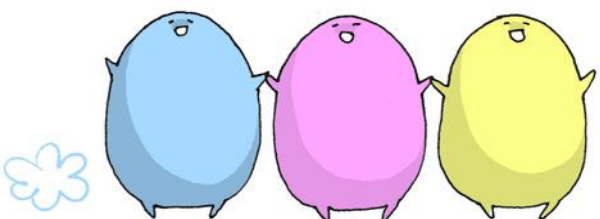
神様が誰にも平等に与えられ、

自分を導く最光の言葉なの。

ありがとう！

はあー言おうよ。

あなたの命に出会えてありがとう！ってー！





だだをこねるのはどうして？

それはね。

父ちゃんと母ちゃんの絆が切れかかっているのを、  
子供がだだをこねて結ぼうとしているのよ。

それじゃあ、ひきつけもきうなの？

きうなの。同じことなの。

おばあちゃんがおじいちゃんを嫌って、  
孫に優しくしてない？

おばあちゃんとおじいちゃんが、

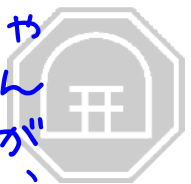
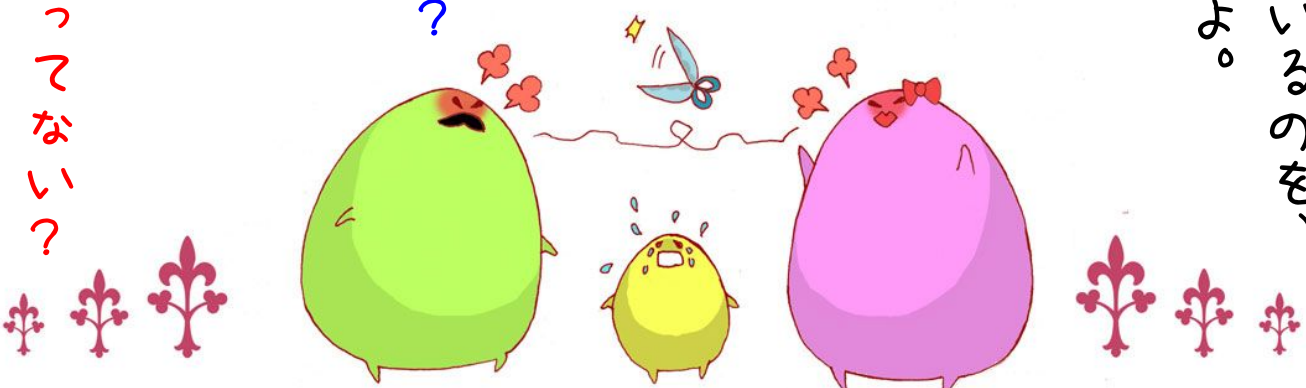
順序を無視して姉弟と付き合い合っていない？

本家と分家の付き合いを避けて、  
他の姉弟と行き来をしていない？

母ちゃん側が婿を無視して孫をかわいがってない？

母ちゃん側が長男夫婦を無視して、  
嫁いだ娘に優しく近づいてない？

隠してもちゃんと子供の心はお見通しなのよ。



## 鰯の頭も信心から

心を別のところに持っていくことで気が変わるのよ。  
例えば、のどに骨が刺さったときはどうする？  
ご飯を飲み込んだり、水を飲んだりして  
無理やりに押し込もうとするわよね。

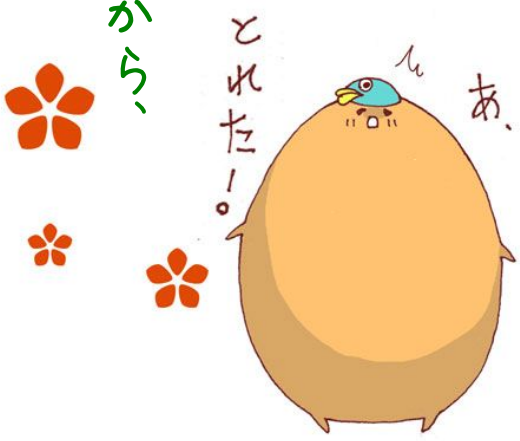
それよりも乾燥した小魚の頭の部分だけを、  
自分の頭の上に乗せるだけでいいの。  
いまではあまり見かけなくなったけど、  
出汁を取るときに使う煮干しのようなものや、  
ビールのつまみにある小魚があればそれでいいよ。  
だけど、どうしても頭に乗せるだけで、  
刺さった骨が取れるの？

少し考えてみれば分かると思うけど、  
目線や心が頭の上の方に行くと、  
下に押し込もうとする意識がなくなるから、  
自然に抜けるじゃないの？

そうなのよ。

心を別のところに持って行くと、  
囚われずに済むから、  
「鰯の頭も信心から」と同じ原理なのよ。

日本人は心を囚われなかったために、  
目の上にお札を奉る方  
法や御祈構を編み出したのだと、  
気づくといいいな。



心の食べ物はなんなの？

みんなの心は命の絆の家族と、向こう三軒両隣のおもてなしを受けて暮らしているのよ。

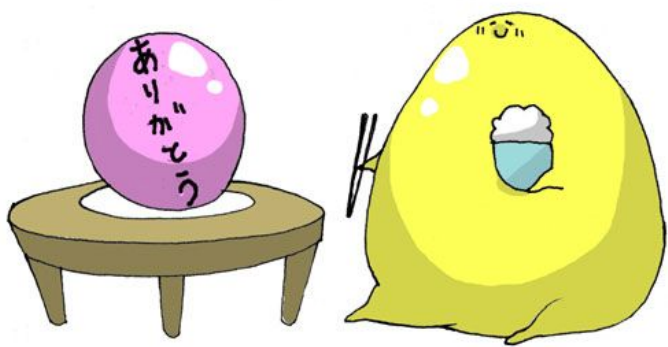
和気藹藹という丸いちやぶ台の周りで、  
立場と順序という座布団に座り、  
左手に和という器の茶碗を持ち、  
右手で礼節という箸を使い、  
ありがとうというご飯をいただいで、  
生きているのよ。

それだけじゃあ、物足りないなら、  
感謝という焼き魚を一品添えて、  
お陰様という吸い物と、  
信じ合うというお漬物と、  
一粒の甘酸っぱい梅干しの涙があれば、  
明日の活力が十分養えることができるわよ。

でもね。

不満や心配が溜まってしまつと、  
家族の絆が切れちゃうから、  
ありがとうというご飯をいっぱい食べようよ。

靈悟姫からのお願いよ！



# 花一輪

むかし昔、茶人は武将を茶室でおもてなしをしていたが、日に日に怒りを買い始めたので、時をうかがっていた。

ある日、「お茶をたしなみに来るから準備を！」と聞いた茶人は、何をして武将の怒りを鎮めたのか？

まず小坊主たちに茶室の周りを丹念に掃除させ、そのあと道中の花をすべてもぎ取らせた。

「いまお見えになりました」と聞いた茶人は、茶室の前にパラパラとゴミを撒き散らした。

それを見た小坊主たちは真っ青になった。

武将は案内されながら「花はどうした？」と怒り、茶室の前まできて、「なぜゴミが落ちている！」

と爆発寸前だったが、茶室に入った途端にほほ笑んだの。なぜって？

それは床の間に花一輪が挿してあったからなの。

これが人生なの！

これが生き方なのよ。

遺産相続争いや、

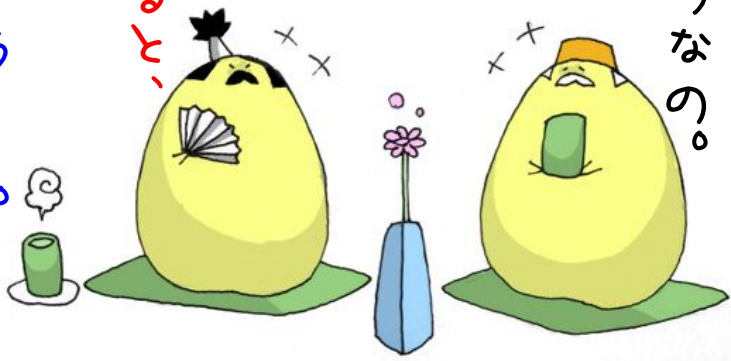
人間関係のトラブルや病や禍でも、

花一輪だけ残し、すべてをもぎ取れば、

どんな難題でも解決するのよ。

たとえば、花一輪を長男の嫁に置き換えると、  
どんな家でも大部分の禍が治まるわよ。

人間はへんなしがらみに惑わされているから……。



本家と分家とはなに？

本家とは長男夫婦のごとで、二男夫婦や三男夫婦のよう  
な弟たちを分家と言うのよ。

嫁いだ娘さんや婿養子を取った家は、

本家でも分家でもないのよ。

それは男側が主体になっていて、

旦那さんが長男なのか二男なのか、

それとも三男なのかで立場が違うだけなの。

親として本家たる長男夫婦の立場を守ることと、  
分家や嫁いだ娘さんたちを守ることになるのよ。

親が直接に分家を守ろうとすると、

本家と分家の争いを起こしてしまい、  
禍を引き寄せてしまうのよ。

いまは「誰でもいいから親孝行」

という思いがあるから、

親が本家を遠ざけて、

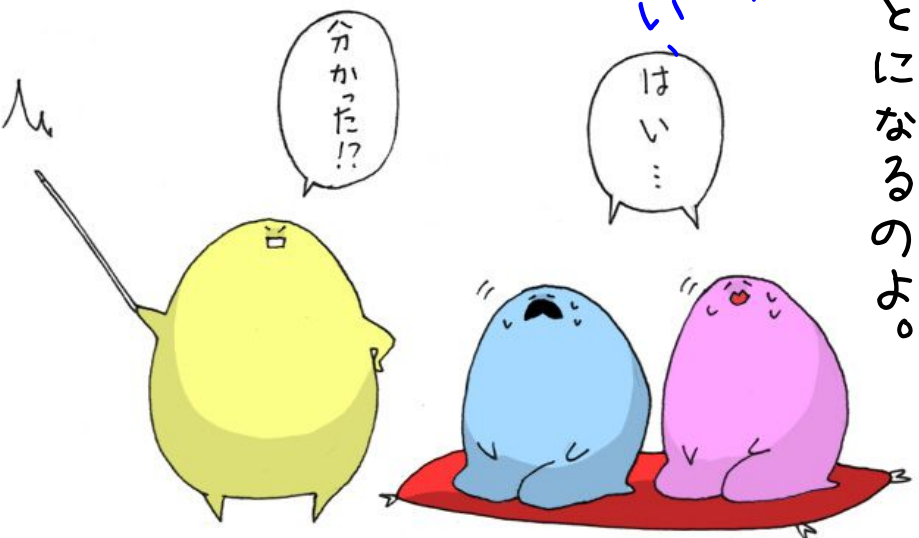
分家を近づけているから、

本家と分家の争いが起き、

親が植えた親切という苗を、

憎しみという稲を刈り取っているのが現状じゃないの？

もう一度、本家と分家の立場と順序を改め直してはどう  
かと思うわ。父ちゃんとお母ちゃん。分かった！



## 嫁がせる親の立場とは？

嫁側は婿側の意見を主にすること。

嫁いだ娘の部屋をそのままの状態に残さず。

婚礼家具で余分な家具や豪華な家具を持たせず。

嫁側の宗教や信仰しているお札は受けないこと。

嫁側の先祖供養や墓参りをしないこと。

娘名義の保険や通帳を持たせず解約すること。

娘夫婦の家と実家の鍵をお互いが持ち合わないこと。

娘名義の自動車を持って嫁がせないこと。

嫁側の親の土地や建物に住まわせず。

嫁いだ娘と婿を従業員として雇用しないこと。

姉妹同士の行き来を控えさせること。

嫁いだ娘と共有の物を持たないこと。

姉妹同士のメールや携帯電話を控えさせること。

嫁いだ娘と親子で携帯電話を頻繁に掛け合わないこと。

嫁の名義の物を控えさせること。

婿を無視して娘のために鑑定せず。

嫁いだ娘夫婦やその子供の写真を実家に貼らないこと。

親や親戚の遺品や形見を嫁いだ娘に渡さず。

嫁いだ娘は心に座布団の意味を理解すること。

婿側の親兄弟の立場と順序を守ること。

男の立場を無視するとは、

息子や孫の代で同じことを、

繰り替えしてしまふからだなの。



## メンドリ側が時を告げると家庭が崩壊する？

昔むかし、ある村でオンドリがメンドリと子ビナを養い平和に暮らしていたけど、日に日に食べ物が無くなってきたので、オンドリたちが集まり協議し、

「幾日の何時にここに夫婦が集まり、隣村に泥棒に行こう」と決まり、勇んで家に帰ったが、メンドリたちは猛反対。

だが一羽のメンドリだけは、

「あなたが行くなら、どこへでも着いて行きますー！」

それを聞いたメンドリと親たちは、

一羽のメンドリと、その親を非難したが、

「わしも婿を信ずるから着いて行きなさいー！」

と、後は何も言わずに後押ししたの。

いざ決行という日、集まったオンドリたちは、

「妻の親に説教され、離婚させられたから行くぞー！」

と、やけのやんぱちで出かけた。

それを聞いた一羽のオンドリは、

「妻を巻き込んではいけない」

「子ビナに汚名を着せてしまう」

その後の後に、

「妻の親に申し訳ない」と、

メンドリの親の恩に報いるために、行く寸前でやめたの。

だけど出かけたオンドリたちは、途中で野犬に食われるものや、捕まり焼き鳥にされるものや、命からがら逃げ帰ったものもいたけど、一羽のオンドリは妻の親に救われたの。



# 青年の詩

高村光太郎

青年は指導をしてくれる人よりも

自分を信じてくれる人を求めている。

青年は金や物よりも

一生つき合える仲間を求めている。

青年はいい洋服を着て仕事をするよりも、

力一杯仕事が出来る職場を求めている。

青年はどんな遊びをするよりも、

感謝する一日を求めている。

青年はたとえ貧しい仕事でも、

一生涯貫く目的を求めている。

そして青年は強くたくましく

今日もどこかで生きている。

